

## 工事費等調査報告書

## 1. 調査概要

依頼番号	北勢-工-34
------	---------

業務名称	令和5年度 単価契約 愛知・三重県内建設資材価格等調査業務
事務所名	北勢国道事務所
工事件名	-
調査実施期間	別紙参照
調査対象業者	施工実績を有する業者
調査方法	書面調査及び電話による聞き取り調査

## 2. 調査結果

[illegible]

歩掛表-1 7°レキャストL型擁壁設置  
高さ $1.0\text{m} < H \leq 2.0\text{m}$  幅 $1.0\text{m} \leq L < 2.0\text{m}$

					10m当り		
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	0.476		●	●	●
特殊作業員		人	0.476		●	●	●
普通作業員		人	0.952		●	●	●
バックホウ（クローラ型クレーン機能付）運転	山積0.8m3吊2.9t（～排2014・超低含）	日	0.476	単価表-1	●	●	●
諸雑費1		%	32.000				
諸雑費2		%	55.000				
諸雑費3		%	14.000				
日当り施工量		m	21.000				

〔条件〕

- 諸雑費1は、基礎砕石に関する敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、碎石等材料費の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
- 諸雑費2は、均しコンクリートに関する打設・養生、型枠製作・設置・撤去労務、電力に関する経費、シュート・ホップ・バイブレータ損料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
- 諸雑費3は、敷モルタル、目地モルタル、吸出し防止材の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表-2 7°レキャストL型擁壁設置  
高さ $2.0\text{m} < H \leq 4.0\text{m}$  幅 $1.0\text{m} \leq L < 2.0\text{m}$

					10m当り		
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	0.769		●	●	●
特殊作業員		人	0.769		●	●	●
普通作業員		人	1.538		●	●	●
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	25t吊 ホベ`レタ付（`排2014・低騒含）	日	0.769		●	●	●
諸雑費1		%	18.000				
諸雑費2		%	31.000				
諸雑費3		%	16.000				
日当り施工量		m	13.000				

〔条件〕

- 諸雑費1は、基礎砕石に関する敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
- 諸雑費2は、均しコンクリートに関する打設・養生、型枠製作・設置・撤去労務、電力に関する経費、シュート・ホッパ・パイプ・レタ損料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
- 諸雑費3は、敷モルタル、目地モルタル、吸出し防止材の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表-3 スクリーン設置  
420×560

					10個当り		
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	0.100				
普通作業員		人	0.100				
諸雑費		式	1.000	端数処理			
日当り施工量		個	100.000				
[条件]							

単価表-1 バックハウ（クローラ型クレーン機能付）運転（機-28）  
山積0.8m3吊2.9t（～排2014・超低含）

名称	規格	単位	数量	摘要	1日当り 諸雑費		
					1	2	3
運転手（特殊）		人	1.000				
軽油		L	61.000				
バックホウ（クローラ型クレーン機能付） 賃料	山積0.8m3吊2.9t（～排2014・超低含）	供用日	1.160				
諸雑費		式	1.000	端数処理			
〔条件〕							